

銀行名	大分銀行
タイトル	取引先の輸入仕入先開拓をサポート
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 A社は造花・盛籠・盆提灯等の製造・卸売業を営んでおり、地域の葬儀社への販売においては確固たる営業基盤を構築している中小事業者。 材料部品を中国の協力企業に委託生産させ、当社で組立を行なったうえで販売しているが、近年中国の協力企業から人件費高騰を理由として値上げ圧力が強くなり対応に苦慮。当社としては、中国以外の国からの調達を模索し東南アジア各国を視察、ベトナムからの輸入を開始した。</p> <p>【取組内容】 当社の意向を受け、第一に当行独自で調査し候補国を絞った上で、第二にジェトロ（日本貿易振興機構）を交えて相談を実施。最終的にベトナムをターゲットとして訪問し商談することとした。</p> <p>現地視察・商談を行なうことになり、当行行員が同行。事前の商談先アレンジから現地アテンド、通訳、物流や資金決済面のアドバイスをを行い試験的に輸入を開始することにした。</p> <p>サンプルを輸入したところ、当社の期待する品質であることが明確となったため、再度このベトナム企業を訪問。3種類程度の当社商品の部品を製造委託することになった。本格的に輸入を開始するにあたり、現地で資金決済方法の決定をする際にアドバイスを実施した。</p> <p>【取引先にとっての効果】 ベトナム企業からの輸入は、当初2年間は順調に推移し当社商品価格の安定化に寄与。しかし、ベトナム企業の幹部が退社したことから品質が劣化。現在この企業からの輸入は停止している。</p> <p>ベトナム企業との取引をしていた2年間で、当初取引していたベトナム企業からの紹介で、他のベトナム企業から造花の輸入を開始。この企業との取引は現在も順調であり、当社の商品価格安定化に寄与している。</p> <p>インドネシアからの輸入も検討し、ベトナムと同様に現地視察・商談を実施。当行はベトナムと同様に現地商談アレンジから現地アテンド、通訳や決済方法のアドバイスを実施。商談後、サンプルを輸入したものの、当社の期待する品質には及ばないことが判明し輸入開始は断念。</p> <p>当社は材料部品の調達先多様化を現在も行っており、今後も調達先を探していく意向で当行のサポートを期待している。</p>

銀行名	大分銀行
タイトル	地公体と連携した観光資源の開発
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A市は観光資源の素材に恵まれているが、観光客誘致に結びついておらず、そのための仕組みづくりが求められていた。 ・ 当行はA市と地域創造連携協力協定を締結し、観光分野についてサポートしていく方針を決定した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行行員とA市役所職員が連携して、A市内の「まち歩きマップ」5コースを制定した。 ・ 当行がA市とJR九州をマッチングし、大分駅からA駅までJRで行き、A市内の酒蔵を巡るツアー商品を開発した。 ・ A市内の観光関連業者と製造業者対象に香港ミッションを実施。香港駐在員事務所がサポートし、現地の旅行会社、レストラン、貿易会社等との商談会を行った。 <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まち歩きマップ」は市内の観光交流センターに常備し、観光客のまち歩きに役立っている。 ・ 商談会を行った旅行会社からA市を含めたインバウンドツアーに関する照会が入る等、今後も継続的效果が期待出来る。 <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	大分銀行
タイトル	環境問題への取組み：「大分銀行の森」づくり
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 大分県が推進する「企業参画森林づくり」に賛同し、平成18年3月に協定を締結し、「大分銀行の森づくり」活動を開始。 第一期は、湯布院町川西で植樹活動を行い、平成23年3月に5年間の協定期間が満了した。その後、平成23年10月に由布市塚原を新たな植栽地として7年間の協定を締結し、現在に至る。</p> <p>【取組み内容】 平成23年10月に由布市塚原の1.5haに2,250本植樹。以後、毎年7月に行員及び家族等約50名が参加して下草刈り作業を行っている。</p> <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本件、植栽による地球温暖化対策、防災活動・保水、水質改善活動等環境活動、自然美観の保持に資するもの。2. 将来的には、植林活動を通じて大分県内の林業の産業再生や6次産業化など地域の持続可能性を高める効果が期待できる。 <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	大分銀行
タイトル	文化・スポーツ活動への取組み：「べつだいウォーク」
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 平成 16 年に国土交通省が別大国道 3 車線化のイベントとして始めたが、平成 18 年に撤退。行事委託先の大分毎日新聞社、特別協賛者の当行、毎日放送系の大分放送の三者が実行委員会を組成し、別大毎日マラソン大会の支援イベント「べつだいウォーク」として継続している。</p> <p>【取組み内容】</p> <p>1．開催時期 毎年 2 月第 1 日曜日「別大毎日マラソン大会」開催当日 2．開催場所 メイン会場：別大国道田ノ浦ビーチ T-wave コース：別大国道歩道 3．企画形態 主催：べつだいウォーク実行委員会 委員長当行副頭取 その他委員会メンバーとして当行から 6 名 特別協賛：当行 4．当行行員 他当日ボランティアとして行員約 100 名参加、参加賞・完歩賞の提供、ドリンク・キャンディの無料サービス等 4．参加人数 平成 27 年第 12 回実績 2,450 名</p> <p>【お取引先にとっての効果】</p> <p>1．当イベントと別大毎日マラソン大会に参加する来県者の誘致。 2．県民の皆さまを中心に、参加される方々への健康増進と風光明媚な別府湾の景観を眺めながら歩くことによる大分の魅力再発見に寄与。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	大分銀行
タイトル	文化・スポーツ活動への取組み：「別府アルゲリッチ音楽祭」
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 従来、大分県に著名な音楽祭がなかったことで、地元在住の音楽家より世界的ピアニスト「マルタ・アルゲリッチ」招聘案が当行に持ち込まれたことをきっかけとして、大分県・別府市などと連携して音楽祭開催を開始した。当行は、平成10年の第1回から継続して毎回協賛し、平成26年の第16回より特別協賛企業として支援している。</p> <p>【取組み内容】 人的支援として、企画運営組織である音楽祭サポート委員会に企業として参加している。 また、本部・営業店・関連会社にボランティアスタッフを募集、「ボランティア休暇制度」を活用し参加している。 平成26年度から、営業戦略部とタイアップして「別府アルゲリッチ音楽祭特別協賛キャンペーン」を実施。投資信託の一定額ご購入者を対象に、抽選で25組50名にペアチケットを進呈した。</p> <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界中でも大分でしか聴くことのできない貴重な音楽祭として、九州以外の都府県からも多くのクラシックファンが来県している。旅行会社による「音楽祭パッキングツアー」なども企画されており、交流人口の増加に寄与している。 2. ホテル等を含む観光施設の利用者増加に寄与している。 <p style="text-align: right;">以上</p>